

乾徳山ハイキング 山行報告書

【山 域】 奥秩父前衛

【日 程】 9/28(土) 日帰り 晴れのち曇り

【参加者】 CL 柘植、澤田路、大木、加藤、安岡 (記録)



【コースタイム】 登山口(駐車) 8:30—登山口標識 8:45—9:45 銀晶水 10:00—10:45 錦晶水 10:55—12:10 鳳岩—12:20 天狗岩—12:40 乾徳山頂—水のタル分岐—14:20 高原ヒュッテ
高原ヒュッテ 14:30—15:45 登山口標識—16:00 登山口(駐車)

【記 録】

安曇野の鉢盛山&有明山の予定を悪天のため変更し、同じく二百名山の乾徳山に登って来ました。乾徳山は初めての人、5回目の人、40年~50年ぶりの人など、参加メンバーの履歴は様々でした。早朝に千葉を出ましたが、やはり土曜日は道路が集いがち。麓の徳和集落のパーキングに着いたのは8時を回りすでに満杯。対面の公衆WC前のスペース(3~4台分ほど)に駐車。徳和川のせせらぎを聞きながら舗装道路を20分ほど歩く間に乾徳山大権現、さらに駐車スペース8台分くらいがあった。見上げるほど立派な登山口の標識に驚かされたところから山道に入る。急な段差は無いゆるやかな登りだが、足元には大き目の石がごろごろしており気が抜けなくてとても歩き辛い。それでも明るい天然林やよく手入れされた杉林の中をのんびり歩いて散歩気分は満点です。登山口から1時間ほどで銀晶水の水場に到着。水量は極少ないが、私と路子さん共に「甘い」という感想でした。休憩していると次々と後続の登山者に追い越される。塩山からのバスは満杯だったようだ。この辺りから唐松が目立ってきて話題は必然的にマツタケに及ぶ。さらに1時間ほどで音を立てて流れる錦晶水の水場に着いた。冷たくて美味!一瞬迷ったが持参したミネラルウォーターを捨てて詰め替えた。美味天然水に勝る飲み物はありません。笹原が出てきて道が緩やかになってきたところが国師ヶ原、古いガイドブックには「荒廃している」とあったが、新築されて瀟洒な別荘の様な高

原ヒュッテ（避難小屋、WC）が立っている。下山時に中を覗いたが清潔で快適そうでした。



いつもの出発前の雄姿



大木さんとシュウメイギク



安岡さんとコスモス



新築なった高原ヒュッテ

急登をひと登りで扇平に着くと展望が開け、本日初の富士山が見えた。夏はお花畑になるらしい。扇平を過ぎると針葉樹林帯に入り、岩場が出てきて趣がガラリと変化する。



国師ヶ原に行く



扇平から甲府盆地方面を望む

鳳岩、天狗岩と、チャレンジし甲斐のある岩場を登り切って山頂に着いたら大展望が待っていた。高さ約 10 メートルの天狗岩の鎖を見ながら攻略法を考えていたら大木さんのひと言「懸垂下降の逆のイメージかな」と。ピンとききました。足がかり手がかりを細かく考えないで靴底を生かした直登よじ登り成功です。下山に取った道は岩ゴロの急坂や木の根に足を取られる難路でしたが、原生林の風情が味わえますので、往復ピストンではつまらないと思う方は歩いてみてください。国師ヶ原の避難小屋が見えた時にはほっとしました。下山途中で小さなリュックを背負った若い女性 2 名

とすれ違う。すでに 15 時を回っているのに一体どこまで? なぜでした。花影の湯 (510 円) でさっぱりして帰葉しました。恵林寺を開いた夢窓国師が修行をしたと伝えられる乾徳山は変化に富む景色が楽しめるお勧めの山です。



山頂記念写真

